

岡山県金融経済月報

1. 概況

県内景気は、海外経済減速の影響が増しているものの、内需の底堅い動きもあって、基調としては緩やかに拡大しつつある。

最終需要をみると、個人消費は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、基調としては持ち直している。設備投資は、高水準を維持している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。公共投資は、増加している。輸出は、減少している。

こうしたもとで、県内主要製造業の生産は、弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、労働需給が引き締まった状態が続いているほか、雇用者所得は改善を続けている。

2. 実体経済

(1) 個人消費

個人消費は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動がみられているものの、基調としては持ち直している。

百貨店およびスーパー売上高は、持ち直している。乗用車販売は、持ち直している。家電販売は、持ち直している。この間、旅行取扱高は、前年を下回った。主要観光地への入り込みは、前年を上回った。

(2) 設備投資

県内企業の設備投資は、高水準を維持している。

19/12月短観調査における設備投資額は、19年度は、製造業が増加する一方、非製造業が減少することから、全体では減少計画となっている。

この間、着工建築物床面積（非居住用<8月～10月>）は、前年を下回った。

(3) 住宅投資

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

10月の県内新設住宅着工戸数をみると、貸家系は前年を下回ったものの、持家系が前年を上回ったため、全体では前年を上回った。

(4) 公共投資

公共投資は、増加している。

発注の動きを示す県内公共工事保証請負額をみると、10月は、「県」や「市町村」を中心に前年を上回った。

(5) 輸 出

輸出は、減少している。

10月の県内輸出（通関実績）をみると、化学製品や石油製品を中心に前年を下回った。

(6) 生 産

県内主要製造業の生産は、弱めの動きとなっている。

9月の県内鉱工業生産指数（直近計数）の季調済前月比は、2か月振りに上昇した。

主 要 製 造 業 の 生 産 動 向

業 種	足 も と の 動 向
自 動 車	弱含んでいる。
鉄 鋼	弱めの動きとなっている。
石油化学	生産水準が低下している。
石油精製	高めの生産水準となっている。
造 船	持ち直している。
織 維	弱めの動きとなっている。
電気機械	下げ止まっている。
耐 火 物	弱含んでいる。
農 機 具	横ばい圏内の動きとなっている。
工作機械	高めの生産水準が続いているものの、生産ペースが幾分鈍化している。

(7) 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給が引き締まった状態が続いているほか、雇用者所得は改善を続けている。

労働需給面をみると、有効求人倍率は、高水準で推移している。9月の所定外労働時間は、前年を下回った。

雇用面をみると、9月の常用労働者数は、前年を上回った。10月の解雇者数は、前年を上回ったが、雇用保険受給者数は、前年を下回った。

賃金面をみると、9月の一人当たり現金給与総額は、前年を下回った。

(8) 物 価

10月の岡山市消費者物価指数（2015年基準、生鮮食品を除くベース）は、住居や教養娯楽を中心に前年を上回った。

(9) 企業倒産

11月の県内企業倒産（東京商工リサーチ調べ、負債総額10百万円以上）をみると、倒産件数は前年と同数となった。負債総額は前年を上回った。

3. 金 融

(1) 実質預金

10月の県内実質預金をみると、全体では前年を上回った。

(2) 貸 出

10月の県内貸出をみると、全体では前年を上回った。

(3) 貸出約定平均金利

10月の新規貸出約定平均金利（総合ベース）は、前月比上昇した。ストック金利(同)は、前月比低下した。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒 700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1 日本銀行岡山支店 総務課

TEL 086-227-5111 (代表)

FAX 086-227-6350

ホームページアドレス <http://www3.boj.or.jp/okayama/>